

内灘町定員管理計画

平成26年3月

河北郡 内灘町

1. 定員管理計画策定の趣旨

内灘町では、地方分権や厳しい財政環境が続く中、より一層の効率的な施策の展開が重要となっています。

このように大きく変化し、複雑多様化する行政ニーズに的確に対応するため、内灘町行政改革大綱に基づいた事務事業の改善、組織の簡素・効率化などに積極的に取り組んできました。

平成17年度に策定した定員管理計画では、定員管理における職員数247人を平成22年度までに232人とし、15人削減する計画を策定し、毎年度の個別の行政需要との整合性を図りながら、計画的な採用・退職管理を行うとともに、社会情勢に応じた適正な事務事業の見直しに伴う組織変更や各業務の電算システム化を推進し、総職員数の削減、定員の適正化に取り組んできました。

これにより、平成22年度における定員管理の職員数が217人と、30人の職員削減を達成することができました。

今後も行政サービスの内容と業務量に応じた適正な職員配置と計画的な定員管理を行うとともに、簡素で効率的な行財政運営に努める必要があります。

一方で、新再任用制度に対する対応や今後、単年度で10人を超える退職者が予想されることから行政組織の体制維持の観点から平準化した職員採用を図る必要もあります。

これらのことから、計画では、年度間での定員職員数の増が生じますが、定員外職員の削減による人件費増を抑制することを基本に、平成30年度までの間の計画的職員定員管理に取り組むものであります。

2. 定員管理計画の目標

(1) 計画期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

(2) 対象職員

計画の対象は、全部門（一般行政、教育部門、公営企業等）の常勤する職員とする。

(3) 計画目標

平成17年度からの定員管理計画の大幅な目標達成により、今回の計画目標は、今後の新再任用制度対応や定員職員の単年度大量退職対策として実施する平準化した職員採用により計画期間内においては定員職員数が増えるが、平成31年4月1日の定員職員数を平成26年4月1日予定の定員職員数と同数とすることを目標とします。

3.過去5年間の職員数の推移

① 過去5年間の定員管理における職員数の推移は下表のとおりです。

		職員数 (人)					対前年増減数 (人)				
		平21	平22	平23	平24	平25	平22	平23	平24	平25	
普通会計	福祉関係を除く一般行政	議会	3	3	3	3	3	0	0	0	0
		総務	37	36	35	34	35	▲1	▲1	▲1	1
		税務	13	13	12	12	12	0	▲1	0	0
		労働	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		農林水産	5	6	5	4	5	1	▲1	▲1	1
		商工	2	2	4	4	4	0	2	0	0
		土木	12	12	10	10	10	0	▲2	0	0
		小計	72	72	69	67	69	0	▲3	▲2	2
	福祉関係	民生	60	55	52	49	40	▲5	▲3	▲3	▲9
		衛生	11	13	14	13	12	2	1	▲1	▲1
		小計	71	68	66	62	52	▲3	▲2	▲4	▲10
	一般行政部門計		143	140	135	129	121	▲3	▲5	▲6	▲8
	教育		27	25	24	24	24	▲2	▲1	0	0
	消防		28	29	30	29	30	1	1	▲1	1
普通会計計		198	194	189	182	175	▲4	▲5	▲7	▲7	
公営企業等会計部門	水道	4	4	4	3	3	0	0	▲1	0	
	下水道	5	5	5	5	5	0	0	0	0	
	その他	15	14	15	14	13	▲1	1	▲1	▲1	
	公営企業等会計部門計		24	23	24	22	21	▲1	1	▲2	▲1
総合計		222	217	213	204	196	▲5	▲4	▲9	▲8	

4.年次別計画の目標

今後、社会情勢の更なる変化や地方分権による事務量の増加も予想されますが、本計画に沿った取り組みを進め、可能な限りの職員の減員に努めるとともに、最少の人員で最大の行政効果を上げるため、全体のスリム化に向けて採用者を絞りながら目標達成に向けて努力するものとします。

①年次別目標職員数 各年度4月1日現在

項目	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H26と H31の 比較
職員数	199	202	203	206	206	199	0
採用予定者	5	5	3	4	7		
退職予定者	2	4	0	4	14		
増減数	3	1	3	0	▲7		0